

汚泥減量に伴う液肥利用による有効性の検証

現在上田市殿城地区農業集落排水処理場施設内において、平成 18 年度より液肥製造プラントを設置し、汚泥の削減、液肥の有効性を検証している。

上田市殿城地区農業集落排水処理場入口



液肥プラント・液肥貯蔵タンク



複合醗酵槽設置



試験プラント設置（発酵合成槽・反応タンク・固液分離反応機）



液肥貯蔵タンク



上屋ユニット



1、汚泥量の削減効果

平成19年5月より平成20年3月までに、約350 m³の削減効果があった。

2、液肥料による試験栽培の検証

液肥利用に先立ち、液肥利用マニュアルを作成し使用者が安心して使用できるよう心がけている。(別紙マニュアル集)

- イ) 信州大学繊維学部附属農場による発芽試験
幼植物検定法による液体状肥料の腐熟度試験

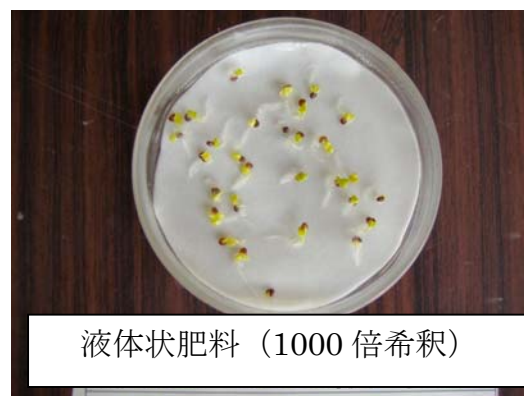
実験結果 (表、写真)

発芽率と根長調査の結果、コントロールに対して液体状肥料および放流水とも顕著な差は見られず、またそれぞれの原液と希釈水の間でも差は見られず、発芽異常は認められなかった。

表 発芽率および根長平均値

	コントロール	液肥 (原液)	液肥 (100倍)	液肥 (1000倍)	放流水 (原液)	放流水 (10倍)
発芽率	100 %	93.3 %	100 %	100 %	100 %	96.7 %
根長平均	10.2 mm	10.5 mm	12 mm	10.9 mm	11.1 mm	11.1 mm

写真 播種 3 日後発芽状況



液肥利用希釈

濃縮液肥 根元散水・・・100 倍
葉面散布・・・1000 倍

普通液肥 根元散水・・・原液
葉面散布・・・10 倍 にて使用する。

ロ) 平成 19 年度において、小松菜・ミニトマト (アイコ)・パプリカ(スペシャル)の試験栽培を行なった。(別冊調査書)